

春に向けての 野菜栽培 ①

2月の農作業

春に向けての 野菜栽培 ②

2月の農作業

レタス

育苗

- 種を水に浸した後、セルトレーにまく。
- 種は光が当たらないと発芽しないので、覆土は薄くする。
- 覆土が乾燥しないよう新聞紙をかけ、発芽したら取る。
- 本葉2枚の頃にポットへ移植する。
- 定植は本葉4～5枚の頃に浅植えをし、灌水を行って根つきをよくする。
- 乾燥に弱いため表面が乾かないように灌水する。生育を見て、液肥の散布も行う。
- 追肥として結球開始期に野菜専用肥料4～5kg/aを施用する。

防除

病害虫名	薬剤	防除
腐敗病	Zボルドー(500～800倍)	
ヨトウムシ アブラムシ類	アディオソ乳剤(2,000～3,000倍)	7日前まで5回以内

畑の準備・定植

土づくり a 当たり	
堆肥	400kg
セルカ(有機石灰)	15kg
植え付け1ヵ月前に土とよく混合	
元肥 a 当たり	
醗酵鶏糞	40kg
野菜専用肥料	5kg
畝立時施用	

- 畝幅120cm
- 株間30cm(2条、株間30cm)

収穫

玉を軽く押さえ、固くしまりかけから収穫する。



玉レタス

ホウレンソウ

畑の準備・定植

土づくり a 当たり	
堆肥	400kg
セルカ(有機石灰)	20kg
植え付け1ヵ月前に土とよく混合	
元肥 a 当たり	
油粕	10kg
畝立時施用	

- 4条まき：畝幅120cm
- 幅15cm、深さ2～3cmのまき溝を作り、播種する。播種間隔2～3cm
- 覆土後、軽く鎮圧する。
- 播種間隔2～3cm(厚播きしない)

間引き・追肥

- 本葉1～2枚時：3～4cm間隔に間引き。
- 本葉3～4枚時：株間5～6cm間隔に間引き、野菜専用肥料5kg/aを施用。

防除

病害虫名	薬剤	防除
ヨトウムシ	ランネート45DF(2,000倍)	14日前まで4回以内
ハスモンヨトウ	アフアーム乳剤(2,000倍)	3日前まで2回以内
アブラムシ類	スミチオン乳剤(1,000～2,000倍)	21日前まで2回以内
菌立枯病	タチガレン液剤(1,000倍)	3ℓ/m ² 播種直後1回

収穫

- 草丈15cm以上、本葉6～8枚以上になれば収穫する。
- 大きくなった株から間引き収穫する。
- 春まきはとう立ちしやすいので早めに収穫する。40～50日。



かぶ(小かぶ)

畑の準備・定植

土づくり a 当たり	
堆肥	300kg
セルカ(有機石灰)	15kg
植え付け1ヵ月前に土とよく混合	
元肥 a 当たり	
醗酵鶏糞	20kg
畝立時施用	

- 4条まき：畝幅120cm 条間20cm 株間12cm
- まき穴を作り重ならないように2～3粒点まきする。
- 覆土をかけた後軽く鎮圧する。

間引き・追肥・土寄せ

- 本葉1～2枚時：間引いて2本立ちとする。
- 本葉4～5枚時：間引いて1本立ちとし、その後、野菜専用肥料5kg/aを施用し、株元に土寄せを行う。

防除

病害虫名	薬剤	防除
アオムシ	マラソン乳剤(1,000倍)	7日前まで4回以内
アブラムシ類	マラソン乳剤(2,000～3,000倍)	7日前まで4回以内
コナガ	アフアーム乳剤(2,000倍)	3日前まで2回以内

収穫

- 5～6cm、大きくなったものから収穫。
- 収穫が遅れるとすがはいたり、割れたりするので注意する。



ダイコン

畑の準備・定植

土づくり a 当たり	
堆肥	300kg
セルカ(有機石灰)	10kg
植え付け1ヵ月前に土とよく混合	
元肥 a 当たり	
油粕	15kg
畝立時施用	

- 1条まき：畝幅60cm 株間25～30cm
- 2条まき：畝幅120cm 株間25～30cm (条間30cm)
- 深さ1～2cmのまき穴を作り、重ならないように3～5粒点まきする。
- 覆土後、軽く鎮圧する。

間引き・追肥・土寄せ

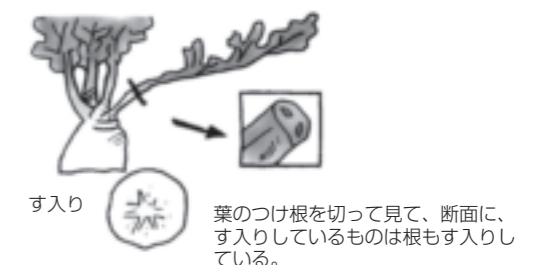
- 本葉1枚時：間引いて3本立てとする。
- 本葉6～7枚時：間引いて1本立てとする。
- 追肥は間引き毎に野菜専用肥料4kg/aを株元に施し、土寄せをする。

収穫

- 春まきはトンネル栽培で80～100日を目安とし、取り遅れに注意する。

貯蔵

- 株元が隠れるくらい厚く土寄せをしておく。



防除

病害虫名	薬剤	防除
アオムシ	オルトラン水和剤(1,500～2,000倍)	14日前まで2回以内
アブラムシ類		
コナガ		